

第5回 安芸市都市計画マスタープラン策定委員会 議事録

日 時 令和元年10月8日(火) 15:00～17:00

場 所 安芸市役所 第1・2会議室

出席者(学識経験者) 坂本委員長、門脇委員

(団体職員) 山本委員、横田委員、松本委員、小松(身)委員

(行政職員) 高知県: 秋元委員

安芸市: 竹部副委員長、岡田委員、門田委員、宇根委員、安田委員、

小松(仁)委員、小松(正)委員、岡村委員、仲田委員

(欠席) 一尾原委員、国藤委員、北村委員

(事務局) 安芸市建設課: 大坪課長、(自動車道推進室) 門田室長、戸島主任、
村永主幹

昭和(株): 西久保、上村、古賀

1. 開 会

2. 議 事

(1) 地域別構想案について (2) 実現化方策(案)について

(3) 市民説明会、パブリックコメントの実施方針について

・事務局からの資料説明後に、以下の質疑応答。

資料1	策定スケジュール
資料2	第4回策定委員会における指摘事項と対応
資料3	安芸市都市計画マスタープラン計画書(案)
資料4	市民説明会、パブリックコメントの実施方針(案)
委員	伊尾木洞が話題になっています。公園に向かう道路の整備等により観光客も増えることも考えられ、内容を膨らませてはどうでしょうか。
委員長	周遊のためのソフト施策を考えていくことが重要です。
委員	県外の方がバスで訪れたり、最近は博覧会の関係で県内から個人で来られる方もいます。上まで登っていくコースの要望もありますが、インストラクターの確保のためには、地域の方の協力が必要と考えます。
委員長	周遊観光のための道路整備、人材育成が地域の課題だと思います。
委員	環境の保全と平行した整備が必要です。ほかにも大山公園の桜がきれいだったので、そういったところも併せて整備すると、体験型観光の幅が広がるのではないのでしょうか。
委員	中心市街地において自転車で動ける範囲が大事です。商業地、公共施設、防災安全施設など、楽しく有意義な生活空間づくりが必要ですが、商業地については、今までのものをどう変えていくかが重要です。
委員	外部からの目も重要です。安芸町地域中心市街地は、瓦屋根や白壁の商店などで、きれいな街なみが形成されています。中心市街地の西側から安芸タイガース球場までの通りを整備できれば、観光的にも魅力があり、自転車で回れる地域づくりができるのではないのでしょうか。

	また、土居地域は、土居廓中や野良時計などがあり、新市役所を田園地域になじむような意匠で建設することで、田園風景と歴史が香る景観を自転車で回れるようにするなど、ポテンシャルが高い地域だと思います。 安芸市には、高齢化や独居老人等の課題もありますが、強みを生かしたまちづくりを進めていただきたい。
委員長	地域別の人口密度は、地域面積ではなく可住地面積とすると高くなります。また、同規模の市に比べ夜間人口が多いことから、その意味では、ポテンシャル・特色をもっています。 自転車を折りたたまずにくろしお鉄道に乗車し、自転車でまわる。ソフト施策としてはレンタサイクル、特色ある建物を活かしたリノベーションなどで歴史ある街の景観をつくり、楽しい通りをつくるなどが考えられます。
委員	安芸町地域の中心市街地の東側は整備されており、安芸中央インター線は整備が進められていますが、中心市街地から西側の道路は拡幅整備がされていないので、整備の検討が必要ではないかと思います。 また、都市計画道路の未整備路線について、このまま土地利用の制限を続け整備するのか、都市計画道路を廃止するのか、今後の整理が必要です。
委員長	安芸中 I C（仮称）周辺の新たな道路整備を含めて、道路網全体の整理が必要です。中心市街地において、市役所移転によりポテンシャルが減ることへの対策はどのようなものがありますか。
事務局 委員長	市役所跡地の活用や、安全で歩いて楽しいまちづくりを進めたいと考えています。他の市で行った高校生へのアンケートでは、利便性が落ちることを心配することが多い。 公共交通において、一本乗り遅れても帰れる、お酒を飲んでも遅い時間までであるなど、今の利便性を保つことが重要です。
委員 事務局	安芸市と公共交通事業者間で調整が必要です。 県立安芸中高等学校が安芸桜ヶ丘高校と統合しますが、全体構想ではあくまで（既存）中心市街地及び周辺、あき総合病院・安芸タイガース球場（西八幡公園）周辺、安芸中 I C（仮称）周辺での都市拠点の形成を位置付けています。中心市街地については、中心市街地活性化基本計画などの見直しにおいて、交通対策を検討していきたいと考えています。
委員長	都市計画の土地利用誘導方策として、立地適正化計画、地域公共交通網形成計画が都市再生特別措置法の改正で創設されました。 立地適正化計画により、市街化区域の中でも、都市機能や居住をどこに集中させ、公共公益施設をどのように配置していくのか、地域公共交通網形成計画とセットとすることで利便性の維持についても検討します。 人口減少に伴う小・中学校の統廃合、災害対策が安芸市特有の問題です。市役所や大学などは全国的に都心回帰の傾向もあるのですが、安芸市については、市役所を防災の観点から中心市街地から移転する決断もしています。
委員	立地適正化計画については県内では5つの市が取り組んでいます。 主には、公共施設の統廃合のタイミングということで進められています。 今後、安芸市において公共施設の統廃合の計画はあるのでしょうか。
事務局	公共施設等総合管理計画は策定済で、令和2年度末までには各公共施設の整備計画

	を策定していく予定です。
委員	中学校の跡地利用や、市民会館、図書館などの公共施設の老朽化対策、建替えを含め、公共施設の再配置の検討を5年以内に進めていきたいと考えています。
委員長	跡地利用の検討状況について説明していただきたい。
委員	安芸市役所及び安芸中学校の跡地をどうするのか、今年度は、その手法、手順について検討しており、アンケート、ワークショップ、説明会、検討委員会の設置など、検討手法の絞り込みを行っています。
	来年度から跡地利用を検討していきます。
委員長	まちづくり懇談会、ワークショップなどを通して、多くの方に関心を持ってもらえます。プロセスも大事であり、色んな人が考えた施設とすることが重要です。
委員	都市防災において、自主防災、組織の充実、防災意識の向上など、表現の統一がされていないようです。
事務局	全体構想との整合を図ります。
委員	地域別構想などの計画書に掲載する写真については、地域の印象が強いものを選定してください。
事務局	写真については整理していきます。今後、ご提案があればよろしくお願いします。
委員	今後、この方針に基づきどう実行していくのかということが大事だと考えます。
	中心市街地においては、対策が必要になります。
	密集市街地について、耐浪化の記載がありますが、耐浪化までは難しいと思います。
委員	新市役所周辺では優良農地の保全と記載いただいています。今後、市として土地利用のバランスをとっていくことが重要です。
	また、市役所の移転、庁舎の移転など、文言の統一をお願いします。
事務局	誤字脱字等のチェックは行っていきます。
委員	言葉の定義として、高齢者と老人など、言葉の統一をお願いします。
委員	土居地域では、市民農園などの農地の活用だけでなく、内原野焼もあり、体験型・交流型観光に入れていただきたい。
委員	観光農園、市民農園について、市としても推進していくのでしょうか。
事務局	各事業については、安芸市の事業計画から抽出しています。記載内容については農林課と相談して決めます。
委員長	安芸市では地区計画を指定した地区はありますか。
委員	伝建地区はあるが、地区計画等はありません。
委員長	非線引き都市計画区域において、地区計画により地域特有のまちづくりを進めることも考えられます。
委員	歴史にあまり触れられてない、歴史資源の点と点を結ぶことによるポテンシャルがあると思いますので、歴史を掘り起こしたまちづくりについて記載してほしい。
事務局	計画書の都市の現況において、歴史を記載します。
委員長	実現化方策において、市民との対話の場として、現在の「まちづくり懇談会」の活用を入れた方がよいのではないのでしょうか。
委員	計画書だと量が多くて市民の方に読んでいただくには難しい。概要版を作成するなど、市民へのわかりやすい周知が必要です。
事務局	概要版の作成を予定しています。
事務局	地区計画、立地適正化計画、中心市街地活性化基本計画などについては、市民にも

	わかりやすい説明を加えます。
委員長	パブリックコメントの期間については年末年始だと慌ただしいのではないのでしょうか。
事務局	作業状況により考慮します。
委員	魚種別漁獲量のグラフは、上位3つとその他などに整理してはどうでしょうか。
委員	産業別就業者数の推移については、経年変化がわかるグラフがあった方が良いでしょう。
委員	下山地域と東川地域の地域境界について、確認してほしい。
事務局	確認します。
委員長	パブリックコメントは建設課が窓口とのことですが、市民が閲覧しやすい雰囲気でしょうか。市役所の入口など多くの人を通るところで実施してはどうでしょうか。
事務局	検討します。

3. 閉 会